

学校通信

《学校教育目標》

「 夢・絆・力 」



ごぐらだより

1 月号

～ 頭を働かせ 心を整え 体を鍛える ～



南摩中ホームページ



能登半島地震、物資輸送航空機事故にてお亡くなりになられた多くの方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。皆様が一日も早く安心して生活を送ることができますことを心よりお祈り申し上げます。

謹んで年始のご挨拶を申し上げます。

年初から大きな災害が発生しました。1 月 9 日(火)の始業式は、地震や航空機事故でお亡くなりになられた皆様のご冥福をお祈りし、被災されました方々へのお見舞いを申し上げることから始まりました。校長からは、自然災害は必ず起きるものでありそれを完全に回避できるものではないこと、大きな被害を受けても自然の恩恵に感謝しながら共存して生きていくこと、そして、今こそ東日本大震災で学んだ知識・技能を生かし「人とつながる力」を発揮して乗り越える時であることを話しました。「一人一人の『今すぐにでも行動したい』という思いを一つに合わせ、被災地の方々が望まれていることに関する情報を集め、それを正しく判断し、私たちができる最善策を見出して行動しましょう。それまでは、被災された方々に心を寄せつつ、自分で為すべきことを為していきましょう。」と投げかけました。生徒たちは誰一人目をそらすことなく真剣な表情で聞いてくれました。

現在、JRC 委員会が「自分たちにできること」を話し合っています。この後、JRC 委員会から全生徒に「行動」を呼びかけていく予定です。教職員は生徒たちの正しいと判断した純粋な思いが、しっかりと実現できるよう支えていきます。

始業式後、数人の生徒から、地震発生後の被災地の様子をテレビで観て、ご家族の方々から東日本大震災の話聞いたと教えてくれました。また、翌日の航空機事故が被災地への物資輸送機であったことを知り、どう受け止めていいのかわからない悲しさを抱いたとも聞きました。災害や事故等で味わう言葉に表せない悲しみを共有しつつ、それでも前を見て、自分だけでなく皆が幸せになるために、今の自分にできることを考えることのできる力を育てていくことが学校職員の責務であることを痛感しました。被災地でお子さんの学びの保証に向けて尽力されているご家族や教職員・行政の方々、また寂しい思いを抱きながらご家族への思いを胸に秘めて集団避難生活を送る中学生、ご家族とともに現地に残って過ごす中学生の姿を心に留めて、南摩中の生徒とともに前を見て学んでいきたいと思

います。
冬休み中、大きな事故等もなく過ごすことができましたのは、保護者の皆様、地域の皆様のご協力あってのことと、心から感謝申し上げます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。



学校評価（大変お世話になりました）

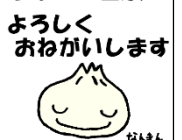
2 学期末に実施しましたアンケートでは、多くの皆様に回答へのご協力をいただき、大変ありがとうございました。アンケート全般におきましては、おおむね良好な評価をいただきました。いただきましたご意見を生かして、これまで以上に教育活動の質的向上に尽力してまいります。また、『ルールを守ってメディアの使用ができる』の項目回答では、保護者の皆様とお子さんとの大きな差異が見られました。学校といたしましては、今後も「ウィズ・メディア」の視点から、メディアの有効な活用の仕方や健康管理面を含めた情報モラル教育の充実に努めてまいります。引き続きご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。さらに、『その他のご意見』として次のようなご意見をいただきました。

- ① ホームページの写真やごぐら便りの写真をもっと見やすくしていただきたい。
- ② 紺や黒の靴下（ハイソックスも）着用可能にするのはいかがでしょうか。

①につきましては、鹿沼市教育委員会の指示のもと個人情報保護の観点から、生徒個人が特定されないよう意図的にぼかしを入れています。また、ホームページの各種たよりの掲示を新着版のみにしています。ご理解いただけますようよろしくお願いいたします。

②につきましては、靴下をはじめ「学校生活のきまり」については、生徒とともに話し合う場を設けながら少しずつ改善していけるよう検討していきます。

貴重なご意見をいただきまして感謝申し上げます。ありがとうございました。



始業式（1月9日）

始業式では、新学期に向けて3名の代表生徒が意見発表を行いました。3名ともこれまでの自分を振り返り、これから頑張っていきたいと思うことを堂々と発表しました。



3学期はまとめの学期であり、次に向けて準備をする学期でもあります。これまで以上に、時間を意識しながら落ち着いた生活を送ることができるよう、職員も支援してまいります。代表者の意見発表を抜粋になりますのでご紹介いたします。

<1年生代表>

写 真

私は持続力と諦めない力を身に付けられるよう頑張りたいことが二つあります。一つ目はできるだけ毎日自主学習を提出することです。持続力を伸ばすためにも頑張りたいです。二つ目は部活動です。新しいチームになって、今でも後悔していることがあります。それは仲間が上げてくれたボールを簡単に落としたことです。私はその時すでに諦めていました。ボールを本気で追いかければ得点に繋がったかもしれないのに、私は本気で追いかけることはしませんでした。これからは前と同じ後悔をしないように練習をして、悔いの無いように大会に臨みたいと思います。

<2年生代表>

写 真

私は3学期に頑張りたいことが三つあります。一つ目は勉強です。苦手な教科や単元を生かして、生徒会役員の仕事にやりがいを感じています。しかし、「全校生徒の意見を取り入れる」という目標を達成できていないので、3学期はアンケートを実施するなどして全校生の意見をとり入れられるような機会をつくっていききたいと思います。三つ目は部活動です。中学校からバレーボールを始めたということもあり大変なこともありましたが、最後まで練習に一生懸命に取り組んで、大会に臨めるようにしたいです。来年、私はいよいよ受験生です。だからこそ、この三年生0学期（ゼロ学期）といわれる二年生の3学期で勉強を中心に様々なことにチャレンジし、多くのことを学べるようにしていきたいです。

<3年生代表>

写 真

これまでを振り返ってみると、私は時間を大切にすることがあまりできていなかったと思います。3学期は約三ヶ月間で、一月は「行く月」、二月は「逃げる月」、三月は「去る月」があります。県立高校受験に向けて、勉強と生活を両立できるようにしたいです。私は自分の意見を出すことが苦手です。しかし、自分の意見を出すということは、中学校を卒業した後の高校生活に必要なことでもあり、社会にでた後の生活をより豊かにすることができると思います。そのために3学期は今までよりも積極的に自分の意見を言えるようにしたいと思います。悔いを残さずに卒業式を迎えることができるようにしたいです。



総合的な学習の時間（1月17日）



1年生の総合的な学習の時間に、日本大学まちづくり工学科の岡田智秀教授、鹿沼市水資源対策室の大場隆光室長、水資源対策室の大貫泰さんに来校いただき『第3回景観学習』を実施しました。

今回の3回目までに、生徒たちは第1・2回までの学びを「景観マップ」としてまとめ、できるだけ多くの方々に発信することを目的に活動を進めてきました。その際、南摩地区の魅力を『伝える・広める・守る』の視点に着目して作成しました。3回目の授業では、景観マップに載せる各自が選んだ景観写真に紹介文をつけて一人一人が発表し、その後岡田教授からアドバイスをいただいて修正していく内容でした。岡田教授からは「景観の区別（眺める場所としての視点場、そこに行って見る景観対象）」「移ろいの景観（四季や時間などの時間軸を意識）」「タイトル（キャッチコピー）」等の具体的なアドバイスをいただきました。また、岡田先生から「皆さん、ことばのデザインが上手いね」といったお褒めの言葉もいただきました。

最後のふりかえりでは、景観学習を通して「人と景観」「人と人」「人と歴史」「人と自然」が繋がっていくことを実感したようです。

作成した景観マップは、今後地域の方々のご協力を得て、多くの方々へ配布させていただく予定です。

これまで御多用中にもかかわらず、わざわざ大学から3回も来校してご指導くださいました岡田教授、岡田教授と本校をつないでくださいました大貫さん・大場室長様には心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

写 真

2・3月の行事予定 ※変更することもあります

2月2日（金）立志式 5日（月）家庭学習強化週間（～11日） 7日（水）特色選抜入試（～8日） 小中交流活動（新入生オリエンテーション） 10日（土）ふれあい宅急弁 11日（日）部活動休止（～15日） 13日（火）学校運営協議会4（上南摩小） 14日（水）1, 2年期末テスト（～15日） 19日（月）委員会活動 22日（木）3年生を送る会 29日（木）音楽集会
3月4日（月）委員会活動 6日（水）県立高校一般選抜学力検査 1, 2年実力テスト 7日（木）県立高校一般選抜面接 卒業式準備 8日（金）3年同窓会入会式 卒業式予行練習 卒業式最終準備 11日（月）卒業式 家庭学習強化週間（～17日） 12日（火）県立高校入試合格発表 13日（水）あいさつ運動 14日（木）音楽集会 1, 2年受験対策ガイダンス 22日（金）修了式 29日（金）離任式